

こんにちはは 日本共産党

区政報告

59

2005年1月号

〒105-8511

h p

日本共産党港区議員団
 港区芝公園1-15125
 電話 357812945
 FAX 357812947
 http://www.jp-cp-nat-okuji.dan.gr.jp/
 メール i.nokuna@cp-nat.okuji.dan.gr.jp

手続き紹介



本会議で質問する いのくま区議

条例可決 4月実施

医療費無料 所得制限も無し 中学3年まで

四月から中学三年生までの医療費が所得制限無しで完全無料になります。

四月実施のための「子ども医療費助成条例」の一部改正が提案され、本会議の採決では圧倒的多数（みなとかがやき・湯原議員が反対）で議決されました。すでに子ども医療費助成対象である就学前の幼児がいる家庭（今年小学校に入学する児童がいる家庭も含む）には、三月末までに医療証が郵送されます。

今年小学二年生になる児童から中学三年生の生徒がいる家庭には、一月下旬から申請書が郵送されます。申請書に必要事項を記入の上、区役所や支所などへ届けるか、返送してください。この医療証が利用できるのは、都内の医療機関のみです。他県の医療機関にかかった場合は、

領収書（医療証と一緒に配付）をもらって、区の窓口に出し還付されます。また、入院食事療養費は保険の対象外なので、領収書を区の窓口に出し還付されます。

条例審議の中で党委員は、東京都が助成範囲を拡大し、所得制限をなくせば、港区がさらに助成拡大できる条件が進むので、東京都へ対象年齢の拡大と所得制限の撤廃を求める意見書の提出を提案。全会一致で議決されました。

固定資産税 引き下げよ 減額求め国・都へ陳情

港・中央の議会、行政、関係団体

十二月六日、高い固定資産税を引き下げよ、各種減免措置の継続を求めて国と東京都に陳情行動が行われました。陳情したのは、中央区と港区、両議会、そして減額運動を展開し議会請願などを行っている「高い固定資産税から営業と住まいを守る会」、「青色申告会」などです。

担水準となるよう、小規模住宅用地にかかる都市計画税の軽減措置と小規模非住宅用地に対する固定資産税・都市計画税の減免措置の継続、都条例による一律減額制度の積極的活用を求めています。

都は十二月議会の中で、減免の継続と都条例変更で負担水準を引き下げをにじませる答弁を引き下げを実現させましよう。

区民要求実現へ今年も奮闘します 前都議会議員 くぼた光

自民・公明の与党は定率減税の縮小・廃止。2年後には消費税増税の方針を決めました。くらしと営業は深刻です。

福祉予算が661億円も削減されてしまいました。憲法否定の知事の姿勢も大問題です。

今年もくらしと営業、憲法と民主主義を守るため奮闘します。



04年12月 都税事務所と交渉
⑤いのくま区議 ④くぼた前都議

第三回定例会で紛争予防条例の一部を改正する条例とワンルームマンションの建築・管理に関する条例が全会一致で可決されました。「紛争予防条例」の主な改正点は、お知らせ看板設置の早期化、説明会の開催義務の明文化と開催期日の指定、建築主の説明会への原則出席、話し合う機会の確保などです。

総戸数三十戸以上は家族向け住宅併設の義務、三十戸以上は日中八時間・週五日以上の管理人の駐在義務、建築・管理の報告書提出義務などの条文からなっています。

ワンルームマンション条例強化 住民と党区議団の提案 活きる

「ワンルームマンション条例」は、「指導要領」を条例化したものです。住戸占有面積が三十七㎡以下の住戸が七戸以上の共同住宅

示し、本会議・委員会、住民の立場に立った条例改正・条例化を強く求めてきました。また、党区議団が提案していた条例案についての区民アンケートも事前に実施しました。

学校の備品予算の増額、卒業アルバムの補助金求める 5 請願 自民、公明、勇気の会が継続に

幼稚園の保育室へのエアコン設置、区立幼稚園の3歳児保育拡大、学校の備品費増額、卒業アルバムへの補助金創設などを求める5つの請願が出され、区民文教常任委員会で審議されました。

幼稚園の保育室へのエアコン設置の請願

遊戯室には補正予算が組まれ設計が始まります。しかし、保育室には計画がありません。いのくま区議は「今年の夏の幼稚園の気温はどのくらい高かったか」質問。担当課長は「38度が何日も続いた」と答えました。共産、民主、一票の会が採択を主張しましたが、自民、公明、勇気の会が継続扱いにしてみました。

学校の備品予算増額を求める請願

請願者が趣旨説明の中で、「技術の授業用の機械が老朽化して買い換えると、他の授業用の備品費は無くなってしまった」などの実態が紹介されました。

いのくま区議は、同予算が平成7年と比べて約半分に減額されている。予算を増やすべきだと主張。共産、民主、一票の会が採択を主張しましたが、自民、公明、勇気の会が継続扱いにしてみました。

卒業アルバム費用に小規模校への補助金創設 求める請願

いのくま区議は、小規模校のアルバム経費が高く補助制度は必要だ。都心区で補助している区はあるか、と質問。担当課長は、「中央区では、小学校1万円。中学校8千円を上限に補助制度がある」と答えました。いのくま区議は、中央区と同様に補助制度をつくるよう求めました。また、修学旅行の費用なども旅行業者と教育委員会が協議し、減額の努力を求めました。請願は、共産、一票の会が採択を主張しましたが、自民、公明、民主、勇気の会が継続扱いにしてみました。

区立幼稚園での3歳児保育拡大を求める請願

いのくま区議は、実現するためにも5年間も開かれていない、「港区公私立幼稚園調整審議会」を開催し協議するよう提案しました。ほとんどの会派から、「3歳児保育拡大は必要」との発言がありました。ところが、自民・公明・勇気の会が継続扱いにしてみました。

ヒートアイランド対策 議会で学習会 ソウル市は河川上の道路を撤去し川を復活

いのくま区議の提案で、都立大学の三上教授を講師にヒートアイランド問題の学習会が開かれました。三上教授は、夏の最高気温に注目が集まるが、年間平均の最低気温が上がっていること、一年を通して気温が上昇していることなどを上げ、対策

を撤去し、川の復活に取り組んでいるソウル市の実例も紹介しました。汐留や品川駅周辺

の巨大ビル群について、何でも建てれば良いというものでなく、つくり方、建て方が問題という主旨の説明をしました。

その学習内容も踏まえ、建築工学、都市論などの専門家による学習会の開催も提案しています。

檜町弓道場 旧赤坂小学校に移設

廃止の方向を
継続に

檜町公園内の檜町弓道場は、弓道愛好家や各種学校などで活用されてきました。

檜町公園をどうするか
の区民参加のワークショップが行われ、参加区民は圧倒的に弓道場存続を求めているのに、区の判断

で廃止する方向が打ち出されていきました。

愛好家からも存続を求める陳情も提出されました。

議会で、区民文教委員会で、いのくま区議が、「弓道場の存続は関係区民と愛好家の強い要望だ。

港区版「猫の飼育ルール」創設を求めました

目黒区では、「猫の飼育ルール」を作成しました。港区でも一定のルールをつくり、パンフレットなどで普及をと、いのくま区議が提案しました。ホームレス猫の繁殖や近隣被害を防ぐため、去勢、不妊手術の助成額の増額。飼い主のいない猫の去勢・不妊手術費用の全額補助を求めました。また、効果的対策を打つためにも区内の猫の実態調査が必要。台場など調査しやすい地域から、地域で関係者の協力も得て実態調査を

すべき。と質問しました。

区長は、区は、区民の皆さんに猫との共生のあり方について、積極的に周知していく。去勢、不妊手術の頭数増加については、区民の要望等を踏まえ、実情にあわせて助成していく。全額補助は考えていない。実態調査は、台場地区でボランティアの協力が得られる見込みなので、実態の把握に努めていく。と答弁しました。